

2009年の電波伝搬実験を振り返って

de JA1RIZ

今年の実験移動は、11ポイントの参加局があり、無事に終了することができました。雨・風等でたいへんなところもあったと思われませんが如何でしたでしょうか。

そして、コントロール局はじめ各局お疲れさまでした。

各局の最大の関心事でありました最長距離交信はどうでしたでしょうか。

とりあえず、暫定結果として次の様に結果発表いたします。

(1) 最長距離交信 (暫定結果)

順位	移動局 A	移動局 B	相互距離(km)
1	JA1RTS/1 戸田市	JR2CTR/2 鳥羽市	290.5
	JR2CTR/2 鳥羽市	JA1RTS/1 戸田市	290.5
2	JA1RIZ/1 渋峠	JR2CTR/2 鳥羽市	286.2
3	JA1FYQ/1 銚子市	JA1RIZ/1 渋峠	234.3

1位の移動局 A ⇔ 移動局 B は相互に、RS 51/51で交信が出来ました。伝搬経路に海上伝搬を持ったものの強みの結果といえるでしょう。見通し距離は相互の標高 (h1=59m, H2=5m 程度) から約42Kmと計算されるため、海上伝搬であっても完全な見通し外通信です。

2位も同様な結果(見通し距離: 約224Km)といえるでしょう。

3位の移動局 A ⇔ 移動局 B については、陸上伝搬で山岳遮へいがありますが、RSは52/57でFBに交信できていました。

今年は、9エリアからの参加があり、めずらしい石川県/珠洲市をゲットされた局もありました。また、岩手に移動の池 OM ⇔ 関東(約450Km 前後) 又は、⇔ 鳥羽市(約700Km) は距離があり、非常に遠く感じ、まぼろしの QSO になりました。

(2) 最多ポイント交信

今回の飛びの良い移動ポイントはどこでしたでしょうか。

やはり、南北に延びた移動ポイントの中心部のポイントが有利という結果です。

順位	移動局	ポイント数
1	JA1RIZ/1 渋峠	10
2	JA1RTS/1 戸田水門	9
3	JA1WOB/1 赤城山	8

なお、コントロール局は番外であります、交信可能ポイント9と多く、FBなポイントといえます。

(3) その他

こんごの検討課題としては次のとおりです。

- ① コントロール局の移動ポイントは今後運用が難しくなるとの情報があり、新たな場所探しが必要となりそうです。
- ② ノイズの増大などで受信状態が **BF** で、「送り」は良くても、交信に至らないこともあります。事前調査や場所の選定が必要となることもありそうです。
- ③ レポートの差の発生について
統一的にデータ収集する場合、レポートの『差』はなるべく小さくしておく必要があります。昨年も挙げましたが、再度。
解決策として、a. 実験前のR（了解度）及びS（信号強度）の意味の確認、b. 擬似受信信号の聴き比べ、c. 受信機感度の点検 etc. の実施はどうでしょうか。

・
・
・

新たにコントロール局を担当の JH1DXJ・JE1PPG 局お疲れ様でした。

技術講習会では、今年の伝搬実験の結果についてのご意見、提案、感想などよろしくお願い致します。

だいぶコンディションが上がってきました。さらにこれからが上昇の時期ですので、ますます各エリアからのご参加をいただくことができれば **FB** と思っております。

以 上
2009.06.30 出稿